

平成31年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	07	01	02	174030	成長分野参入促進事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	02 工業の振興	
	施策	02	事業分野の拡大			
目的	成長分野への新規参入を促すため、専門職による指導・助言や、製品・技術開発・調査・販路拡大等の取組を支援する。					
対象	市内企業					
意図	新製品・新技術開発及び販路拡大を図る					
事業概要	花巻市成長分野進出事業補助金 3,000千円					
	市内事業者が新たに成長分野（エネルギー・環境、医療、福祉、食品、自動車）において行う製品開発・技術開発を支援					
	成長分野参入推進プロジェクトマネージャーの派遣 実績なし 成長分野に進出しようとする市内事業者に対する指導、助言					
市民参画の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	成長分野セミナー・講演会開催回数	回	計画	3.00	3.00	
			実績	0.00	2.00	
2	プロジェクトマネージャー派遣日数	日	計画	6.00	6.00	
			実績	2.00	0.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	市の支援により成長分野に取り組んだ件数	件	目標	3.00	3.00	
			実績	2.00	1.00	
2	プロジェクトマネージャーの派遣を受けた市内企業数	社	目標	2.00	2.00	
			実績	1.00	0.00	
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
市内中小企業の現状として、人手不足の状況の中、新製品・新技術開発に取り組むより、生産性向上を目的とした生産設備を導入するケースが多く、成長分野に取り組んだ件数については、成果指標3件に対し成長分野進出事業補助金交付1件の実績であった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	地域産業の成長戦略展開の支援は、地域経済の活性化に直結するため、市内中小企業の育成の観点からも、市の支援により取り組む必要がある。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	支援制度の更なる周知や定期的なセミナーの開催により、参入企業の掘り起こしの拡大を図ることが可能となる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の補助金での支援が事業の主であるため、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	全ての市内中小企業を対象としており、意欲さえあれば広く制度を活用することができるため、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	今年度は、市の補助金よりも限度額及び補助率が充実したものづくり補助金（国庫補助金）などを活用する市内企業が相当数あったことから、本補助金を活用し成長分野へ参入した企業数は1件に留まったと思料。また、新分野参入及び新事業展開にあたっては、事業者が自前で有識者を見つけ出し事業を実施しているケースもあり、本事業に頼らず自立的取組が行われていた。
	次年度に向けて	成長分野への取り組みは実績1件となったものの、成長が見込まれる分野への新規参入や新事業展開は、企業の成長及びリスク分散のために必要でありプロジェクトマネージャー派遣事業を活用しながら引き続き支援していく。